

2023年2月期 第1四半期

# 決算説明会資料

(2022年3月1日～2022年5月31日)

2022年7月11日

---

コーナン商事株式会社

(証券コード：7516 東証プライム)

<https://www.hc-kohnan.com/>

# 2023年2月期 第1四半期 決算概要（連結）



**売上高** **1,074億円** **前年同期比※ 99.4%**

- 前期コロナの外出規制の反動により、インテリア用品、収納用品、文具・事務用品などの売上減が影響
- PRO向け商材、リフォーム関連は引き続き堅調。園芸、ペット、サイクル・レジャーなど外回り関連も好調に推移

**売上総利益** **411億円** **前年同期比※ 98.5%**

- 原材料費や海上運賃の高騰、為替相場における円安の進行などの輸入コストの上昇が影響

**営業利益** **78億円** **前年同期比※ 85.1%**

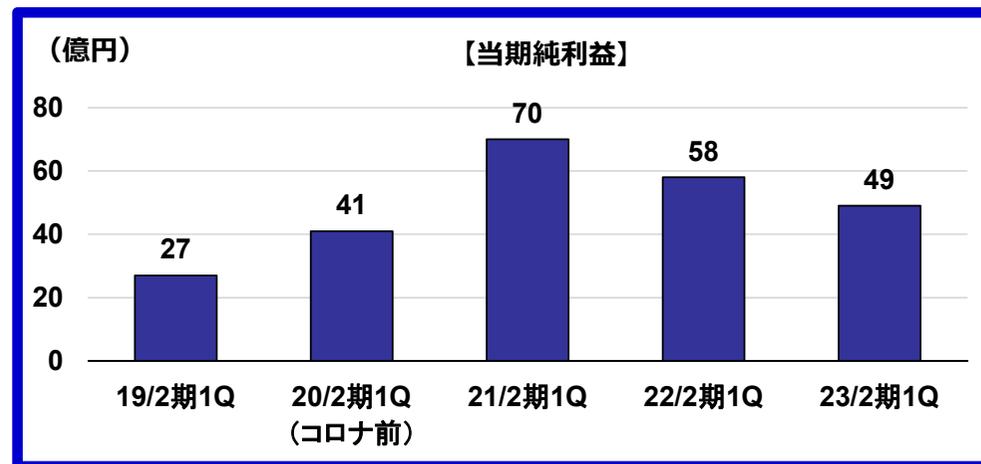
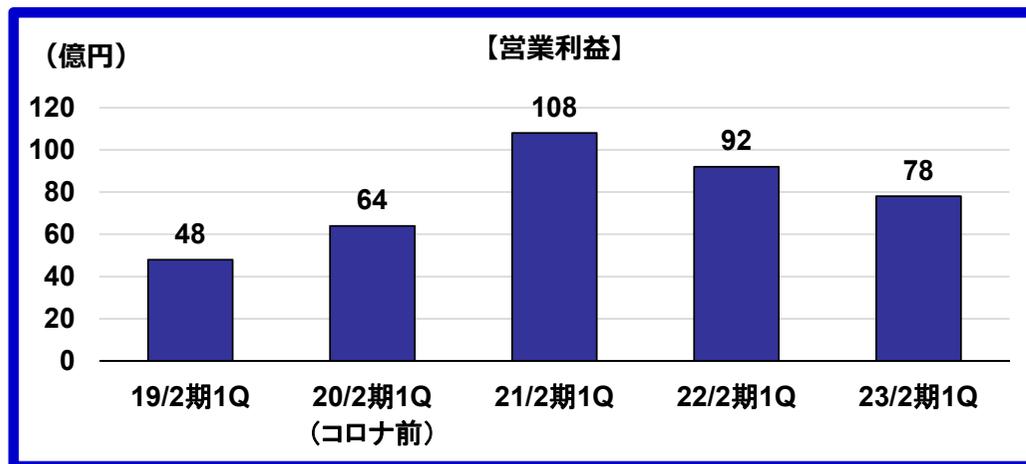
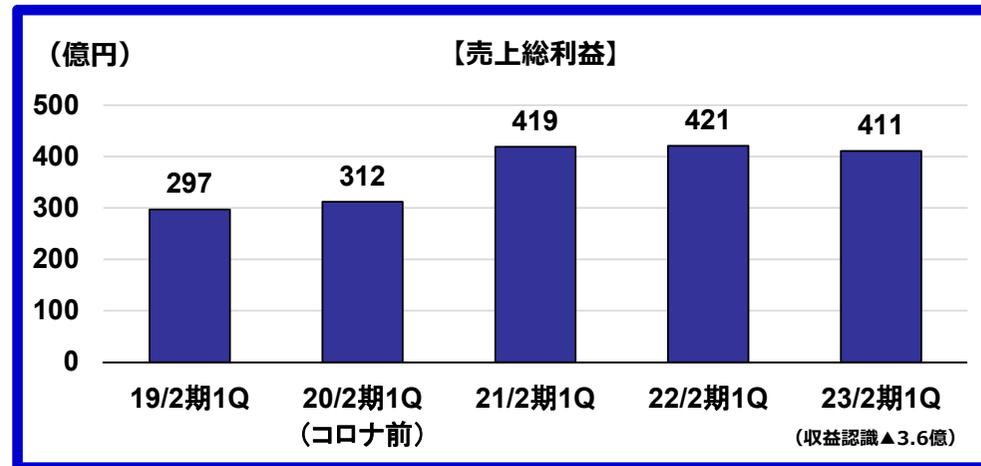
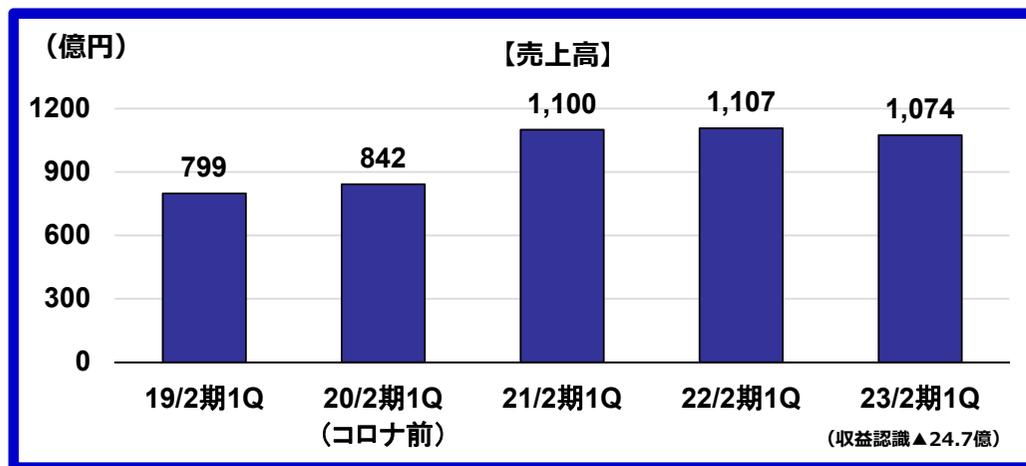
- 売上減に加え、新店出店に伴う人件費、物件費の増加など販売管理費の増加に伴い利益減少

親会社株主に帰属する  
当期純利益

**49億円** **前年同期比※ 85.5%**

2023年2月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。  
※前年同期比は前年同期に当該会計基準等を適用したと仮定して算出した増減率を記載しております。

# 参考：直近5年間の決算推移（連結）



※各グラフにおいて、23/2期のみ「収益認識に関する会計基準」を適用しております（収益認識影響額：売上▲24.7億円、売上総利益▲3.6億円）

# 損益計算書（連結）



- 売上高は好調なPRO業態などプラス要因もあったが、前期コロナの外出規制の反動により減少
- 利益項目は円安、原材料費高による売上総利益の減少と出店に伴う販売管理費の増加により減益

項目（百万円）	2022年2月期 第1四半期※	売上比	2023年2月期 第1四半期	売上比	前年同期比
売上高	108,114	-	107,470	-	99.4%
営業収入	3,855	-	3,944	-	102.3%
営業収益	111,969	-	111,415	-	99.5%
売上総利益	41,807	38.67%	41,177	38.32%	98.5%
販売管理費	36,424	33.7%	37,259	34.7%	102.3%
営業利益	9,238	8.5%	7,863	7.3%	85.1%
経常利益	8,616	8.0%	7,341	6.8%	85.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,817	5.4%	4,974	4.6%	85.5%

2023年2月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。

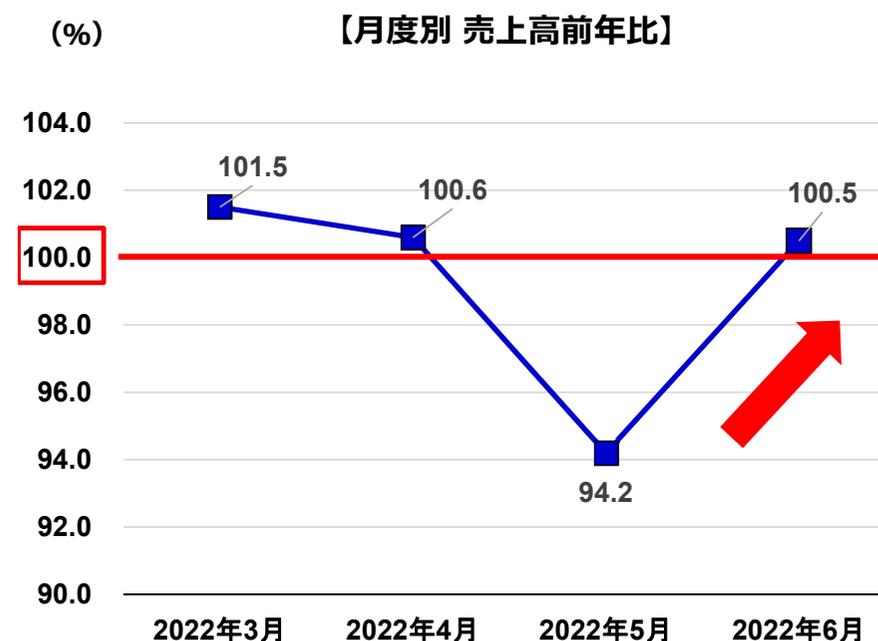
※前年同期に同会計基準を適用したものと仮定して金額を算出しております。

# 月度別 売上高の推移（コーナン単体）



- 5月度は前年の外出規制の反動により前年同期を割り込んだが、6月度は回復傾向
- 6月度は梅雨明けも早く、例年よりも季節商品など好調に推移し前年並みまで回復

	売上高 (百万円)	前年同期比※ (%)
2022年3月	29,800	101.5
2022年4月	32,348	100.6
2022年5月	33,040	94.2
第1四半期計	95,189	98.6
2022年6月 (速報値)	31,446	100.5



※前年同期比は、前年同期に「収益認識に関する会計基準」等を適用したものと仮定して算出（6月度除く）しております。

# 損益計算書（連結） 販売管理費



- 新規出店などにより、人件費や賃借料等が増加
- その他販管費は前年同期比98.4%。内、水道光熱費は前年同期比約30%増加したが、販売促進費や広告宣伝費、備品費等の削減により減少

項目（百万円）	2022年2月期 第1四半期※	売上比	2023年2月期 第1四半期	売上比	前年同期比
人件費	12,332	11.4%	12,901	12.0%	104.6%
賃借料	11,456	10.6%	11,862	11.0%	103.5%
減価償却費等	3,473	3.2%	3,479	3.2%	100.2%
その他販管費	9,161	8.5%	9,016	8.4%	98.4%
販売管理費計	36,424	33.7%	37,259	34.7%	102.3%

※前年同期に「収益認識に関する会計基準」等を適用したものと仮定して金額を算出しております。

# 業態別実績（売上・粗利益率・営業利益率） 連結/コーナン単体



- HC業態：売上高は前年コロナの外出規制の反動により減少し、粗利益率は原材料費の高騰や円安、海上運賃の高騰などの押し下げ要因により低下。それに伴い営業利益率も低下
- PRO業態：売上高は引き続き好調。粗利益率はHCと同様に低下。営業利益率は上昇、販管費伸びの抑制によるもの

(百万円)	業態	23年2月期 第1四半期	売上高※ 前年同期比	粗利益率※	粗利益率※ 前年同期	粗利益率 前年差	営業利益率※	営業利益率 前年差
連結	HC	76,741	96.6%	40.24%	40.54%	▲0.30pt	9.1%	▲1.0pt
	PRO	29,307	106.6%	33.12%	33.30%	▲0.18pt	7.0%	0.4pt
	会社計※2	107,470	99.4%	38.32%	38.67%	▲0.35pt	7.3%	▲1.2pt

(百万円)	業態	23年2月期 第1四半期	売上高※ 前年同期比	粗利益率※	粗利益率※ 前年同期	粗利益率 前年差	営業利益率※	営業利益率 前年差
コーナン (単体)	HC	75,338	96.6%	40.35%	40.70%	▲0.35pt	9.3%	▲1.1pt
	PRO	17,631	105.2%	35.02%	35.42%	▲0.40pt	7.6%	0.5pt
	会社計※2	95,189	98.6%	39.04%	39.48%	▲0.44pt	7.9%	▲1.4pt

※ 売上高前期比、粗利益率、粗利益率前年同期、営業利益率は、「収益認識に関する会計基準」等を適用して算出しております。

※2 会社計には、その他売上（EC、キャンプデポ、他社への商品供給等）を含んでおります。

## 業態別実績（売上・粗利益率）子会社別



- 建デポ：PB商品の導入など取り扱い商品の見直しを進め、引き続き好調を維持。昨年度より新規出店も開始し今後更なる事業規模の拡大を狙う
- ビーバートザン：HC業態はコロナの反動減で苦戦しているが、PRO業態は好調
- コーナンベトナム：前年ロックダウンにより営業できていなかったため、第2四半期以降その反動増を見込む

（百万円）	業態	23年2月期 第1四半期	売上高※1 前年同期比	粗利益率	粗利益率 前年同期	粗利益率 前年差
建デポ	PRO	10,863	108.9%	30.23%	29.99%	0.24pt
ビーバートザン	HC	801	92.0%	35.72%	35.81%	▲0.09pt
	PRO	813	106.5%	30.40%	30.05%	0.35pt
コーナンベトナム	HC	602	107.0%	32.56%	26.31%	6.25pt

※1 売上高前期比は、前年同期に「収益認識に関する会計基準」等を適用したと仮定して算出しております。

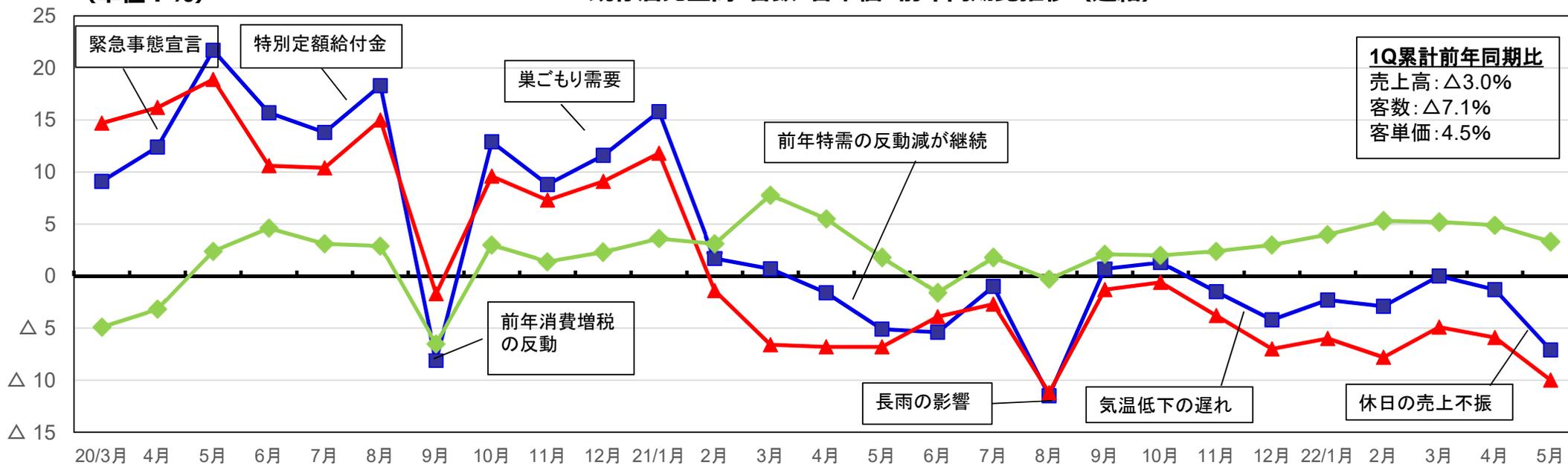
# 既存店前年同期比（売上高・客数・客単価） 連結



□ 既存店売上高前年比：97.0%、既存店客数前年比：92.9%、既存店客単価前年比：104.5%

□ 客数は、新型コロナの在宅需要の反動を受け減少。客単価は、原材料費の高騰や円安の進行を受け、市場価格に合わせ段階的に値上げを行い上昇

(単位：%) 既存店売上高・客数・客単価 前年同期比推移（連結）



**1Q累計前年同期比**  
 売上高：△3.0%  
 客数：△7.1%  
 客単価：4.5%

※既存店前年同期比は、前年同期に「収益認識に関する会計基準」等を適用したと仮定して算出しております。

■ 売上高 ▲ 客数 ◆ 客単価

# 商品部門別売上（連結）



商品部門 (百万円)	商品動向	連結		
		2023年2月期 第1四半期	前年同期比※	売上構成比
ホームインプローブメント (DIY用品)	PRO商材、園芸、リフォームは好調維持。 一般向けDIY用品はコロナ需要が一巡し前年割れ	54,762	101.8%	51.0%
ハウスキーピング (家庭用品)	在宅需要の反動により、家具・インテリア用品、収納用品など を中心に前年割れ	34,478	95.9%	32.1%
ペット・レジャー (ペット・レジャー用品)	ペット関連は引き続き好調を維持 文具・事務関連は、在宅用事務用品の反動減が継続	14,977	99.2%	13.9%
その他 (100円ショップ、灯油、自販機)	-	3,251	99.7%	3.0%
合計	-	107,470	99.4%	100.0%

※ 前年同期比は、前年同期に「収益認識に関する会計基準」等を適用したと仮定して算出しております。

- ホームインプローブメント … 木材・建材、工具、金物・水道、塗料・作業用品、園芸用品、園芸植物、資材・エクステリア、住設機器、リフォーム
- ハウスキーピング … ダイニング用品、インテリア、電材・照明、日用品、収納用品、薬品、履物・衣料、家庭雑貨品、家電、介護用品、フード、酒類
- ペット・レジャー … カー用品、ペット用品、文具・事務用品、サイクル・レジャー用品

# 商品部門別売上（詳細：コーナン単体）



商品部門 (百万円)	商品動向	コーナン単体		
		2023年 2月期 第1四半期	前年同期比※	売上構成比
DIY用品	一般向けDIY用品は、コロナ需要後低調が継続	13,864	95.3%	14.6%
PRO商材	PRO向け商材は、道具袋や作業服、作業ズボン、安全靴など個人の趣向性のある商品の訴求を強化し販売も好調	14,191	105.2%	14.9%
園芸・リフォーム	園芸は園芸用土、薬品、農業資材中心に好調 リフォームは、「カスタムリフォーム」の展開強化により好調	15,489	100.5%	16.3%
日用雑貨・家庭用品	コロナ感染対策品を中心に反動減が継続 (ハンドソープ、除菌剤、マスク等)	20,810	95.0%	21.8%
インテリア・収納・文具	外出制限が無くなり、在宅需要の反動減が影響 (壁紙、照明器具、PC収納、オフィス家具等)	14,175	94.5%	14.9%
ペット・カー・レジャー	ペット用品は引き続き好調維持。レジャー用品や行楽用品、 サイクル、カー用品等を中心に外回り関連は好調	12,257	101.0%	12.9%
その他 (100円ショップ、灯油、自販機)	-	4,400	107.9%	4.6%
合計	-	95,189	98.6%	100.0%

※ 前年同期比は、前年同期に「収益認識に関する会計基準」等を適用したと仮定して算出しております。

■ DIY用品/PRO商材	… 木材・建材、工具、金物・水道、塗料・作業用品	■ 園芸・リフォーム	… 園芸用品、園芸植物、資材・エクステリア、住設機器、リフォーム工事
■ 日用雑貨・家庭用品	… ダイニング用品、日用品、薬品、履物・衣料、家庭雑貨品、介護用品、フード、酒類		
■ インテリア・収納・文具	… インテリア用品、収納用品、電材・照明、家電、文具・事務用品		
■ ペット・カー・レジャー	… ペット用品、カー用品、サイクル・レジャー用品		

# PB商品部門別売上（連結）



- PB売上構成比は35.7%（前期比+2.7pt）と好調に推移
- 売場の販促面の強化（ショーカード、セレクト企画）や商品パッケージの統一を推進

商品部門 (百万円)	連結					
	2021年2月期 第1四半期		2022年2月期 第1四半期		2023年2月期 第1四半期	
	PB 売上高	PB売上※1 構成比	PB 売上高	PB売上※1 構成比	PB※2 売上高	PB売上※1 構成比
ホームインプローブメント (DIY用品)	12,755	27.6%	14,347	29.9%	15,982	33.2%
ハウスキーピング (家庭用品)	11,789	32.4%	12,225	35.4%	12,280	37.1%
ペット・レジャー (ペット・レジャー用品)	5,251	36.3%	5,533	37.6%	5,955	40.8%
合計	29,797	30.7%	32,106	33.0%	34,218	35.7%

※1 リフォーム、100円ショップ、フード・酒類等を除いて、部門売上高構成比を算出

※2 2023年2月期のPB売上高は、「収益認識に関する会計基準」等を適用した数値となっております。

# PB商品部門別売上（コーナン単体）



- PB売上構成比は、37.6%（前期比+2.2pt）と好調に推移
- 好調：園芸培養土、合板、荒材、ペットシート、クローゼット収納、洗車用品、電動アシスト自転車など
- 不調：マスク、アクリル板、使い捨てゴム手袋、水性塗料、合羽、ジョイント式床材、電球蛍光管など

商品部門 (百万円)	コーナン単体					
	2021年2月期 第1四半期		2022年2月期 第1四半期		2023年2月期 第1四半期	
	PB 売上高	PB売上 <sup>※1</sup> 構成比	PB 売上高	PB売上 <sup>※1</sup> 構成比	PB <sup>※2</sup> 売上高	PB売上 <sup>※1</sup> 構成比
ホームインプロブメント (DIY用品)	12,377	31.7%	13,523	33.5%	14,291	35.5%
ハウスキーピング (家庭用品)	11,643	33.5%	12,061	36.8%	12,065	38.8%
ペット・レジャー (ペット・レジャー用品)	5,212	36.5%	5,494	37.7%	5,914	40.9%
合計	29,232	33.2%	31,079	35.4%	32,271	37.6%

※1 リフォーム、100円ショップ、フード・酒類等を除いて、部門売上高構成比を算出

※2 2023年2月期のPB売上高は、「収益認識に関する会計基準」等を適用した数値となっております。

# 貸借対照表（連結）



科目（百万円）	2022年2月期	2023年2月期1Q	増減	増減要因他
<b>流動資産計</b>	<b>123,884</b>	<b>130,195</b>	<b>6,311</b>	
現金及び預金	12,242	10,189	△2,053	
売掛金	10,636	13,243	2,606	キャッシュレス比率の増加（売上比 前年41.9%→約45.1%）
商品及び製品	93,113	96,036	2,923	季節要因
<b>固定資産合計</b>	<b>274,192</b>	<b>275,686</b>	<b>1,494</b>	
有形固定資産	187,571	188,304	732	
無形固定資産	28,169	27,811	△358	のれん償却による減少
<b>資産合計</b>	<b>398,076</b>	<b>405,881</b>	<b>7,805</b>	
<b>流動負債計</b>	<b>102,414</b>	<b>101,038</b>	<b>△1,375</b>	
買掛金	39,412	46,134	6,722	季節要因
短期借入金	9,187	1,150	△8,037	資金調達のタイミングによるもの
1年内返済長期借入金	25,741	26,294	552	
<b>固定負債合計</b>	<b>153,217</b>	<b>159,667</b>	<b>6,449</b>	
長期借入金	85,988	92,980	6,991	資金調達のタイミングによるもの
商品自主回収引当金	667	648	△18	
<b>純資産合計</b>	<b>142,444</b>	<b>145,176</b>	<b>2,731</b>	自己資本比率 35.8%
<b>負債純資産合計</b>	<b>398,076</b>	<b>405,881</b>	<b>7,805</b>	

# 有利子負債に関して



- 有利子負債は前期同様に推移
- DEレシオ（有利子負債÷純資産）：1.10倍（前期末1.13倍）
- 自己資本比率：35.8%

(単位：億円)

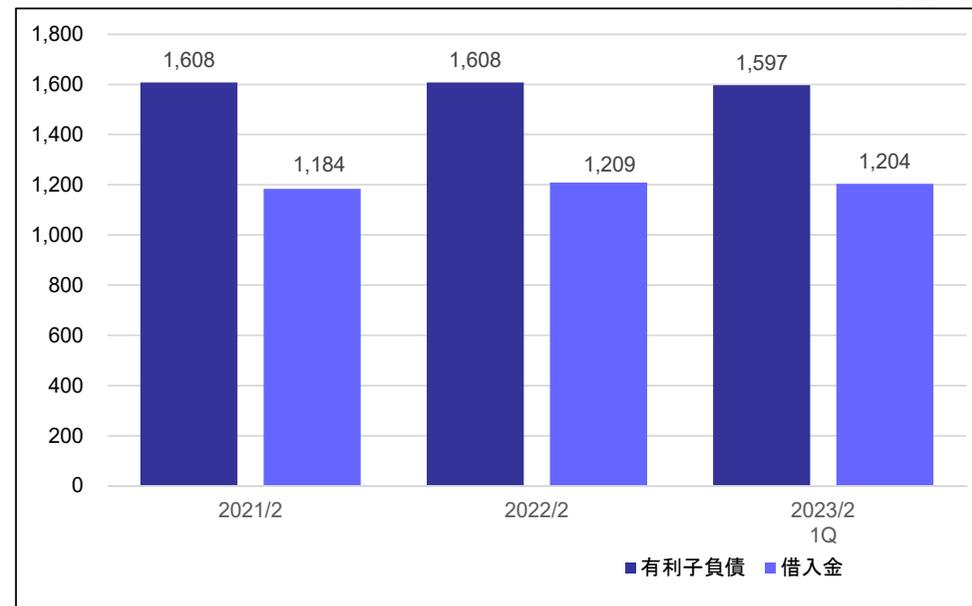
科目	2022年2月期	2023年2月期 第1四半期	増減
有利子負債 合計※1	1,608	1,597	▲11
内) 借入金 合計※2	1,209	1,204	▲5

※1 有利子負債合計：借入金合計+1年内リース債務+リース債務+1年内長期未払+長期未払

※2 借入金合計：短期借入金+長期借入金+1年内長期借入金

### 有利子負債・借入金 推移表

(単位：億円)



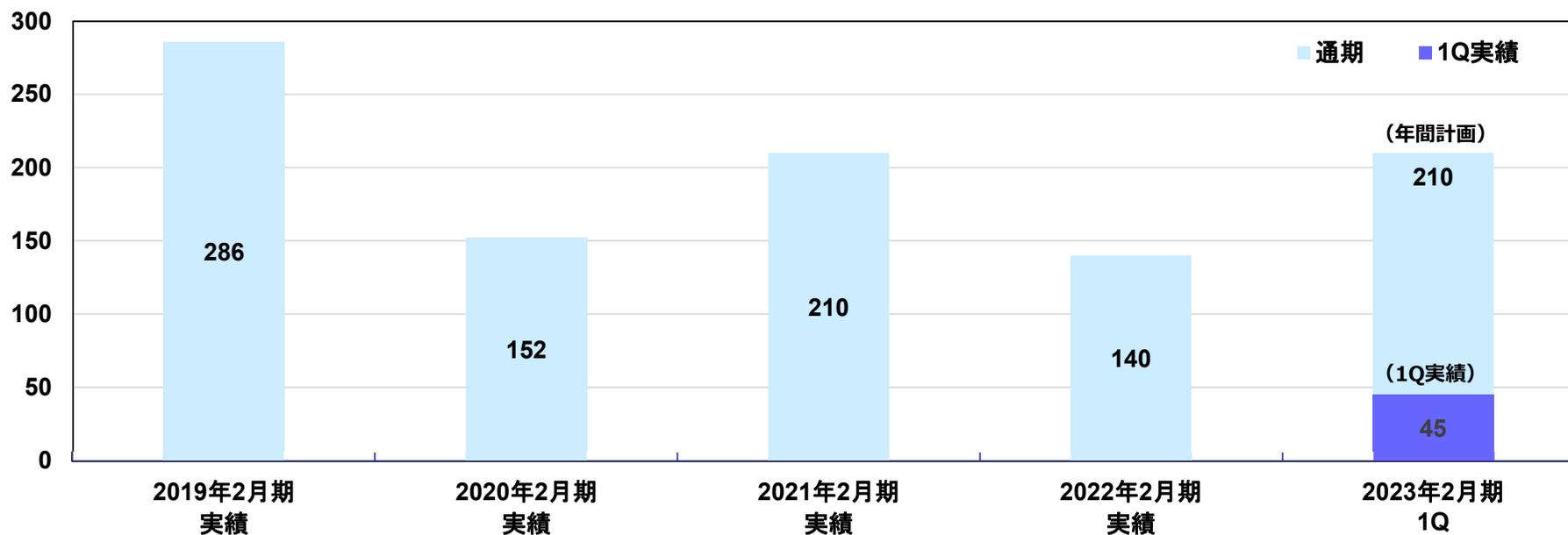
# 設備投資実績・計画



- 2023年2月期第1四半期の設備投資実績は約45億円（年間計画に対する進捗は21.4%）
- 第1四半期は居抜き出店（新店8店舗中5店舗）も多く、設備投資額は抑制

（単位：億円）

設備投資金額実績・計画



# 出店状況①



- HC : 3店舗、PRO : 2店舗、CAMP DEPOT : 1店舗、ビーバートザン (PRO) : 1店舗、コーナンベトナム : 1店舗 計8店舗出店
- 投資効率を勘案し、新店8店舗中5店舗は、居抜き出店

	業態	店舗名	居抜き	所在地	売場面積	開店年月日
1	HC	豊田T-FACE店	●	愛知県豊田市	2,640㎡	2022.3.25
2		見奈良店	●	愛媛県東温市	2,970㎡	2022.4.13
3		八王子オクトーレ店	●	東京都八王子市	1,650㎡	2022.4.27
4	PRO	PRO三鷹東八店		東京都三鷹市	990㎡	2022.3.9
5		PRO城南片江店		福岡市城南区	1,815㎡	2022.4.20

■ 見奈良店



■ PRO三鷹東八店



## 出店状況②



	業態	店舗名	居抜き	所在地	売場面積	開店年月日
6	CAMP DEPOT	CAMP DEPOT姫路網干店	●	兵庫県姫路市	455m <sup>2</sup>	2022.4.15
7	ビーバートザン	ビーバープロ経堂店	●	東京都世田谷区	495m <sup>2</sup>	2022.3.16
8	コーナンベトナム	スマートシティ店		ベトナム ハノイ	1,472m <sup>2</sup>	2022.4.28

■ビーバープロ  
経堂店



■コーナンベトナム  
スマートシティ店



# 店舗数（2022年5月末時点）



2022年5月末時点 510店舗（今期：出店8店舗 退店0店舗）

国内	501店舗 (出店7退店0)	HC		PRO			CAMP DEPOT
		 ホームセンター コーナン	 ヒートザン	 コーナン PRO	 購入さんに便利な店 デイジーズブック Daijies Book	 Ken Depot pro	 CAMP DEPOT
		311店舗 (出店3退店0)	6店舗 (出店0退店0)	104店舗 (出店2退店0)	5店舗 (出店1退店0)	68店舗 (出店0退店0)	7店舗 (出店1退店0)
海外	9店舗 (出店1退店0)	 KOHNAN VIETNAM CO.,LTD					
		【ベトナム】					
		9店舗*					
		(出店1退店0)					

※コーナンベトナムの店舗数は会計期間ではなく、実際の出店日を基準に表示しております。

# 出店予定（2022年6月以降オープン予定店舗）



	業態	店舗名	居抜き	所在地	予定売場面積	開店予定日
1	HC	沖浜店	●	徳島県徳島市	1,680㎡	2022.6.15
2		品川旗の台店	●	東京都品川区	990㎡	2022.7.27
3		イオン海浜幕張店	●	千葉市美浜区	2,145㎡	2022.8
4		三田対中店	●	兵庫県三田市	1,980㎡	2022.9
5		愛媛県西条市等 3店舗		-	-	-
6	CAMP DEPOT	大和店	●	神奈川県大和市	380㎡	2022.7.8
7		神奈川県横浜市 他		-	-	-
8	PRO	天山店		愛媛県松山市	990㎡	2022.6.8
9		世田谷八幡山店		東京都世田谷区	1,865㎡	2022.8.9
10		尼崎下坂部店		兵庫県尼崎市	1,386㎡	2022.8.19
11		高知県高知市等 6店舗		-	-	-
12	PRO+HC	広島県東広島市等 2店舗		-	-	-
13	建デポ	川口芝店		埼玉県川口市	1,806㎡	2022.6.14
14		福岡原店		福岡市早良区	1,040㎡	2022.7.6
15		埼玉県草加市等 5店舗		-	-	-
16	コーナンカンボジア	センソックシティ店		プノンペン	950㎡	2022.7.1
17	コーナンベトナム	ハノイ1店舗、ホーチミン1店舗		-	-	-

# 2023年2月期業績予想（連結）



- 業績予想：前回の公表を据え置き
- 第1四半期は、コロナの反動減、原材料費の高騰や円安の進行などによる輸入コストの上昇、水道光熱費の上昇等の要因により前期比を下回る。第2四半期以降も厳しい環境は続くが、好調なPRO業態や季節品販売を中心に売上の底上げと経費コントロールによる利益確保を目指す

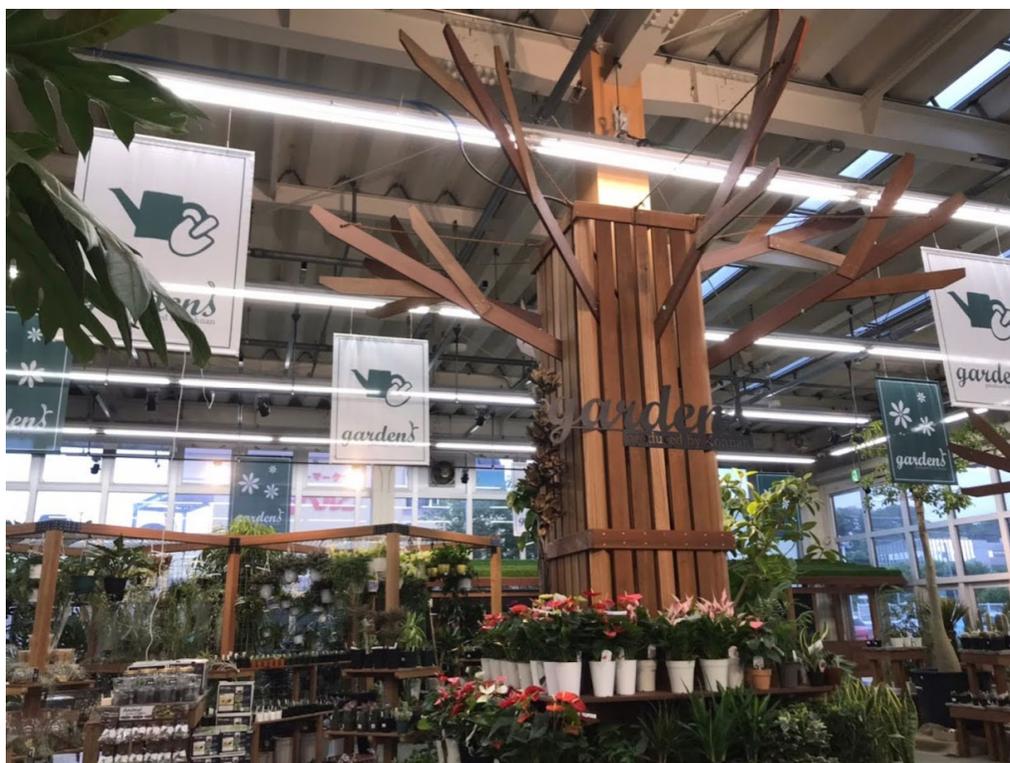
項目 (百万円)	2023年2月期 第1四半期	前年※ 同期比	2Q計画 (上期計画-1Q実績)	前年※ 同期比	上期計画	前年※ 同期比	通期計画	前年※ 同期比
営業収益	111,415	99.5%	115,385	105.5%	226,800	102.5%	447,700	103.9%
売上高	107,470	99.4%	111,530	105.7%	219,000	102.5%	432,000	104.0%
(内 既存店売上高)	-	97.0%	-	103.3%	-	100.2%	-	101.1%
売上総利益	41,177	98.5%	43,623	107.7%	84,800	103.0%	165,600	104.0%
営業収入	3,944	102.3%	3,856	100.2%	7,800	101.3%	15,700	101.2%
販売管理費	37,259	102.3%	39,141	104.3%	76,400	103.3%	155,300	104.3%
営業利益	7,863	85.1%	8,337	122.3%	16,200	100.9%	26,000	100.6%
経常利益	7,341	85.2%	7,959	121.5%	15,300	100.8%	24,400	100.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,974	85.5%	4,926	114.6%	9,900	97.6%	15,800	101.0%

※2023年2月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。前年同期比は2022年2月期に当該会計基準等を適用したと仮定して算出した増減率を記載しております。

# 改装店舗紹介：ぐりーんうおーく多摩店（東京都） 園芸館



- 観葉植物やインテリアグリーンに特化した改装を実施し、コロナ後も好調なカテゴリ（園芸植物）を強化
- 港北インター店に続き、2店舗目の園芸館で、今後他店においても、部分改装含め園芸売場は拡大予定



## 海外事業紹介：カンボジアへの出店



- 2022年2月14日に全額出資子会社を設立し、ベトナムに続き、海外2か国目となる出店をカンボジアにて行う
- カンボジア 首都プノンペンのイオンモール センソックシティ店内に出店



# サステナビリティへの取組み



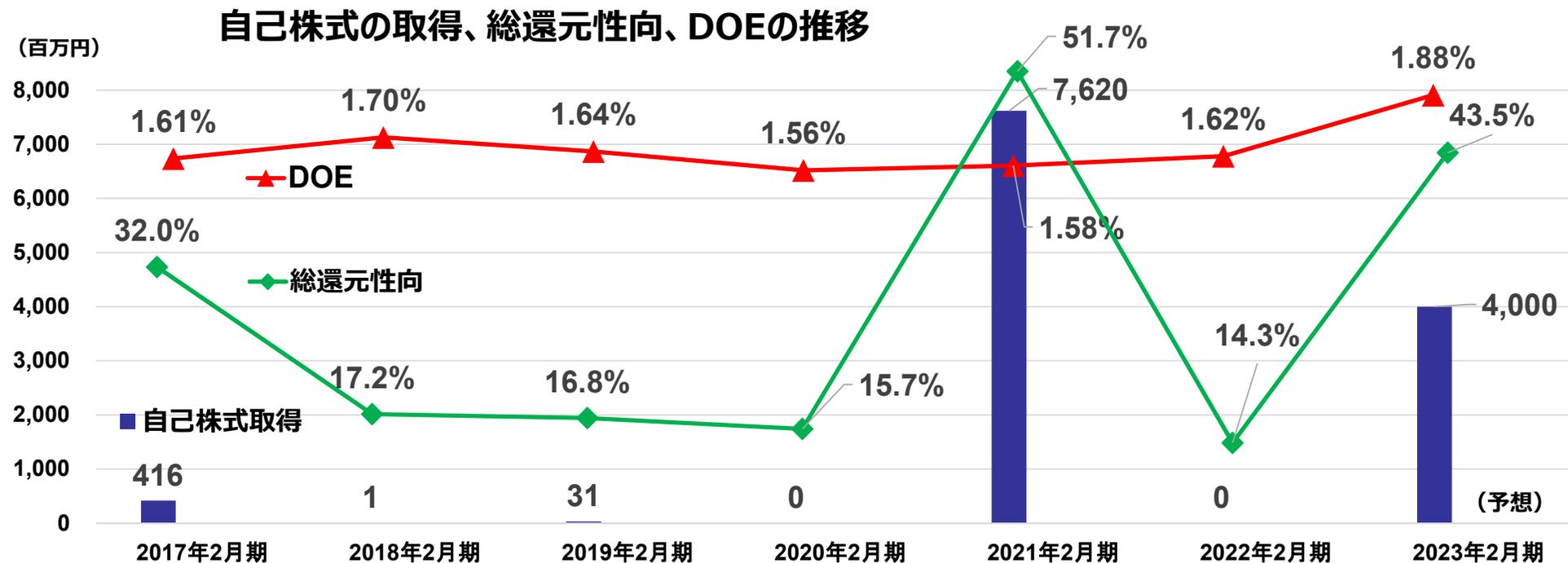
□SDG s にかかる重要課題について、5つの重要課題グループと17項目の重要課題を特定いたしました

重要課題グループ	重要課題	関連するSDG s
1.住まいと暮らしの豊かさへの貢献	1)適正価格、適正品質、豊富な品揃えにより、お客様の豊かな生活を実現 2)お客様の利便性を追求した商品・サービスの提供 3)多様な業態により日常・余暇・災害時など、お客様の暮らしをトータルサポート	  
2.環境に配慮した事業の推進	4)プライベートブランド商品における省資源の推進 5)省エネを通じたCO2排出量の削減による脱炭素社会への貢献 6)資源リサイクルを通じた廃棄物の削減による循環型社会への貢献 7)環境保全活動を通じた自然共生社会への貢献	     
3.地域社会への貢献	8)災害時における物資の供給及び避難場所の提供を通じた各自治体との連携強化 9)様々なイベントや活動を通じた地域創生への貢献 10)グローバルな店舗網の拡充と雇用の創出	    
4.働きがいのある職場環境の構築とダイバーシティの推進	11)働く人々の多様性や個性を尊重した能力開発とキャリア形成の支援 12)誰もが働きやすいと実感できる職場づくりとコミュニケーションの充実 13)国内外グループ会社間の人材交流を通じた多様なノウハウの蓄積	   
5.コーポレート・ガバナンスの強化	14)経営の透明性をより高めるための社内風土づくりと管理体制の強化 15)様々なステークホルダーの権利や立場を尊重した対話と共創 16)サプライチェーンにおける公平公正な取引 17)コンプライアンスの遵守	 

# 株主還元：自己株式の取得



- 今期40億円（取得株式数120万株）を上限とした自己株式の取得を実施（9月末まで）  
⇒第1四半期終了時点：取得株式数369,300株、取得価額13億5千1百万円
- 総還元性向30%以上、DOE（株主資本配当率）2.0%を目標とする



2023年2月期 第1四半期

# 決算説明会資料

(2022年3月1日～2022年5月31日)

## 補足資料

※2023年2月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。  
前年同期比は2022年2月期に当該会計基準等を適用したと仮定して概算した増減率を記載しております。

# 01.損益計算書（連結）



項目 (百万円)	2021年2月期 第1四半期			2022年2月期 第1四半期			2023年2月期 第1四半期		
	実績	前年同期比	売上比	実績	前年同期比	売上比	実績	前年同期比※1	売上比
売上高	110,088	130.7%	-	110,780	100.6%	-	107,470	99.4%	-
既存店売上高※2	96,107	114.7%	-	107,310	97.8%	-	104,792	97.0%	-
営業収入	3,703	102.3%	-	3,855	104.1%	-	3,944	102.3%	-
営業収益	113,791	129.5%	-	114,635	100.7%	-	111,415	99.5%	-
売上総利益	41,944	134.0%	38.10%	42,124	100.4%	38.03%	41,177	98.5%	38.32%
販売管理費	34,817	122.2%	31.6%	36,754	105.6%	33.2%	37,259	102.3%	34.7%
営業利益	10,830	168.4%	9.8%	9,225	85.2%	8.3%	7,863	85.1%	7.3%
営業外収支	△ 522	-	-	△ 622	-	-	△ 521	-	-
経常利益	10,307	168.5%	9.4%	8,603	83.5%	7.8%	7,341	85.2%	6.8%
特別損益	△ 17	-	-	2	-	-	46	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,054	170.0%	6.4%	5,817	82.5%	5.3%	4,974	85.5%	4.6%

※1 2023年2月期の前年同期比は、前期に「収益認識に関する会計基準」等を適用したと仮定して算出しております。

※2 各期において開店から13か月以上経過した店舗を既存店とみなし、その売上実績及び前年同期比較しております。

## 02.販売管理費（連結） 他



項目 (百万円)	2021年2月期 第1四半期			2022年2月期 第1四半期			2023年2月期 第1四半期		
	実績	前年同期比	売上比	実績	前年同期比	売上比	実績	前年同期比※	売上比
人件費	12,055	130.3%	11.0%	12,332	102.3%	11.1%	12,901	104.6%	12.0%
賃借料	11,117	113.7%	10.1%	11,456	103.1%	10.3%	11,862	103.5%	11.0%
減価償却費 (のれん償却含)	3,254	127.5%	3.0%	3,473	106.7%	3.1%	3,479	100.2%	3.2%
その他販管費	8,391	121.5%	7.6%	9,491	113.1%	8.6%	9,016	98.4%	8.4%
計	34,817	122.2%	31.6%	36,754	105.6%	33.2%	37,259	102.3%	34.7%

※ 2023年2月期の前年同期比は、前年同期に「収益認識に関する会計基準」等を適用したと仮定して算出しております。

項目 (百万円)	2021年2月期 第1四半期		2022年2月期 第1四半期		2023年2月期 第1四半期	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
自己資本比率	33.1%	0.0pt	33.9%	0.8pt	35.8%	1.9pt
有利子負債	158,412	94.6%	167,682	105.9%	159,797	95.3%
1株当たり 四半期利益	204.66円	84.27円	179.14円	▲25.52円	158.74円	▲20.4円

## 03.貸借対照表（連結）



科目（百万円）	2021年2月期	増減	2022年2月期	増減	2023年2月期 第1四半期	増減
<b>流動資産計</b>	<b>119,422</b>	<b>12,549</b>	<b>123,884</b>	<b>4,461</b>	<b>130,195</b>	<b>6,311</b>
現金及び預金	14,681	2,703	12,242	△2,439	10,189	△2,053
売掛金	8,569	610	10,636	2,067	13,243	2,606
商品及び製品	88,245	9,725	93,113	4,867	96,036	2,923
<b>固定資産合計</b>	<b>275,673</b>	<b>4,283</b>	<b>274,192</b>	<b>△1,480</b>	<b>275,686</b>	<b>1,494</b>
有形固定資産	189,767	4,758	187,571	△2,196	188,304	732
無形固定資産	28,793	△1,987	28,169	△624	27,811	△358
<b>資産合計</b>	<b>395,095</b>	<b>16,832</b>	<b>398,076</b>	<b>2,980</b>	<b>405,881</b>	<b>7,805</b>
<b>流動負債計</b>	<b>104,665</b>	<b>2,619</b>	<b>102,414</b>	<b>△2,251</b>	<b>101,038</b>	<b>△1,375</b>
買掛金	40,970	3,552	39,412	△1,558	46,134	6,722
短期借入金	6,437	△8,550	9,187	2,750	1,150	△8,037
1年内返済長期借入金	26,113	△733	25,741	△371	26,294	552
<b>固定負債合計</b>	<b>157,143</b>	<b>5,006</b>	<b>153,217</b>	<b>△3,925</b>	<b>159,667</b>	<b>6,449</b>
長期借入金	85,941	4,307	85,988	47	92,980	6,991
商品自主回収引当金	757	△90	667	△90	648	△18
<b>純資産合計</b>	<b>133,287</b>	<b>9,206</b>	<b>142,444</b>	<b>9,157</b>	<b>145,176</b>	<b>2,731</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>395,095</b>	<b>16,832</b>	<b>398,076</b>	<b>2,980</b>	<b>405,881</b>	<b>7,805</b>

## 04.商品部門別 売上高（連結/コーナン単体）



### ■連結

商品部門 (百万円)	2021年2月期 第1四半期		2022年2月期 第1四半期		2023年2月期 第1四半期	
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比*
ホームインプロブメント (DIY用品)	51,322	140.7%	53,976	105.2%	54,762	101.8%
ハウスキーピング (家庭用品)	38,071	125.1%	36,042	94.7%	34,478	95.9%
ペット・レジャー (ペット・レジャー用品)	16,969	113.0%	17,488	103.1%	14,977	99.2%
その他 (100円ショップ・灯油・自販機など)	3,725	159.3%	3,272	87.8%	3,251	99.7%
合計	110,088	130.7%	110,780	100.6%	107,470	99.4%

### ■コーナン単体

商品部門 (百万円)	2021年2月期 第1四半期		2022年2月期 第1四半期		2023年2月期 第1四半期	
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比*
ホームインプロブメント (DIY用品)	41,526	118.0%	43,567	104.9%	43,545	100.2%
ハウスキーピング (家庭用品)	36,363	121.2%	34,170	94.0%	32,409	95.1%
ペット・レジャー (ペット・レジャー用品)	16,813	113.0%	17,338	103.1%	14,834	99.2%
その他 (100円ショップ・灯油・自販機など)	4,241	168.7%	4,084	96.3%	4,400	108.0%
合計	98,945	119.8%	99,161	100.2%	95,189	98.6%

## 05.PB商品部門別 売上高（連結・コーナン単体）



### ■ 連結

商品部門 (百万円)	2021年2月期 第1四半期			2022年2月期 第1四半期			2023年2月期 第1四半期		
	PB売上高	PB売上構成比	構成比前年差	PB売上高	PB売上構成比	構成比前年差	PB売上高	PB売上構成比	構成比前年差
ホームインブルーメント (DIY用品)	12,755	27.6%	▲2.4pt	14,347	29.9%	2.3pt	15,982	33.2%	3.3pt
ハウスキーピング (家庭用品)	11,789	32.4%	▲1.2pt	12,225	35.4%	3.0pt	12,280	37.1%	1.7pt
ペット・レジャー (ペット・レジャー用品)	5,251	36.3%	0.6pt	5,533	37.6%	1.3pt	5,955	40.8%	3.2pt
合計	29,797	30.7%	▲1.7pt	32,106	33.0%	2.3pt	34,218	35.7%	2.7pt

### ■ コーナン単体

商品部門 (百万円)	2021年2月期 第1四半期			2022年2月期 第1四半期			2023年2月期 第1四半期		
	PB売上高	PB売上構成比	構成比前年差	PB売上高	PB売上構成比	構成比前年差	PB売上高	PB売上構成比	構成比前年差
ホームインブルーメント (DIY用品)	12,377	31.7%	1.1pt	13,523	33.5%	1.8pt	14,291	35.5%	2.0pt
ハウスキーピング (家庭用品)	11,643	33.5%	▲0.2pt	12,061	36.8%	3.3pt	12,065	38.8%	2.0pt
ペット・レジャー (ペット・レジャー用品)	5,212	36.5%	0.7pt	5,494	37.7%	1.2pt	5,914	40.9%	3.2pt
合計	29,232	33.2%	0.5pt	31,079	35.4%	2.2pt	32,271	37.6%	2.2pt

※連結・単体共に、リフォーム、100円ショップ、フード・酒類等を除いて、部門売上高構成比を算出しております。

## 06.事業会社 業態別実績



会社名 (百万円)	業態	2021年2月期 第1四半期			2022年2月期 第1四半期			2023年2月期 第1四半期		
		売上高	前年 同期比	粗利益率	売上高	前年 同期比	粗利益率	売上高	前年 <sup>※1</sup> 同期比	粗利益率
コーナン	HC	82,984	120.9%	39.32%	80,540	97.1%	39.65%	75,338	96.6%	40.35%
	PRO	14,662	111.6%	34.61%	16,801	114.6%	35.58%	17,631	105.2%	35.02%
	その他 <sup>※2</sup>	1,317	-	-	1,819	-	-	2,219	-	-
	計	98,945	119.8%	38.61%	99,161	100.2%	38.68%	95,189	98.6%	39.04%
ビーバートザン	HC	1,000	106.3%	36.20%	872	87.2%	35.90%	801	92.0%	35.72%
	PRO	787	112.8%	30.21%	764	97.1%	30.13%	813	106.5%	30.40%
	その他 <sup>※2</sup>	17	-	-	17	-	-	18	-	-
	計	1,806	108.4%	39.80%	1,654	91.6%	32.08%	1,633	98.9%	31.43%
建デポ	PRO	9,331	-	30.81%	10,062	107.8%	30.59%	10,863	108.9%	30.23%
	その他 <sup>※2</sup>	99	-	-	187	-	-	363	-	-
	計	9,431	-	30.75%	10,250	108.7%	30.28%	11,227	110.5%	29.85%
コーナンベトナム	計	476	239.7%	29.76%	562	118.1%	26.31%	602	107.0%	32.56%
連結調整		▲570	-	-	▲848	-	-	▲1,183	-	-
連結合計	計	110,088	130.7%	38.10%	110,780	100.6%	38.03%	107,470	99.4%	38.32%

※1 2023年2月期の前年同期比は、前年同期に「収益認識に関する会計基準」等を適用したと仮定して算出しております。

※2 その他：EC、他社への商品供給（自社グループ内含む）等

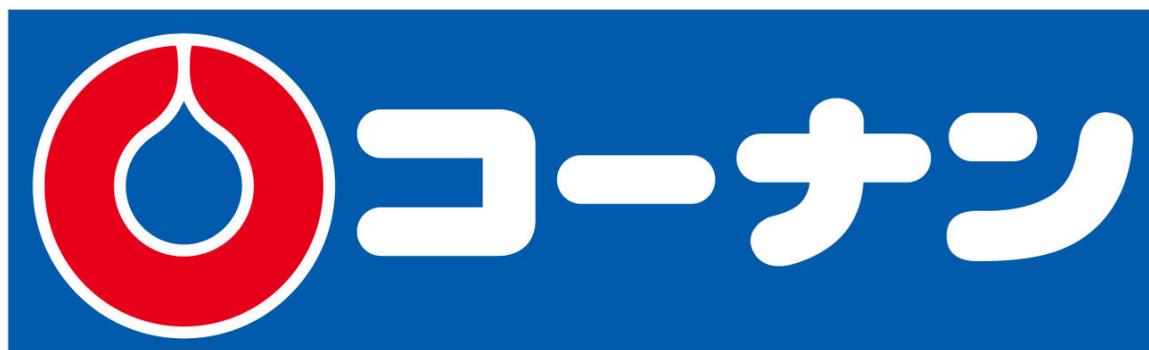
## 07.店舗数（2022年5月末時点）



	業態	2021年2月期末			2022年2月期末			2023年2月期 第1四半期		
		出店	退店	店舗数	出店	退店	店舗数	出店	退店	店舗数
コーナン	HC	9	0	298	13	3	308	3	0	311
	PRO	15	0	98	5	1	102	2	0	104
	CAMP DEPOT	1	0	1	5	0	6	1	0	7
	計	25	0	397	23	4	416	6	0	422
ビーバートザン	HC	0	0	6	0	0	6	0	0	6
	PRO	0	0	4	0	0	4	1	0	5
	計	0	0	10	0	0	10	1	0	11
建デポ		0	0	66	3	1	68	0	0	68
コーナンベトナム		3	0	8	0	0	8	1	0	9
合計	計	28	0	481	26	5	502	8	0	510







**【見通しに関する注意事項】**

当社が開示する情報の中には、将来の見通しに関する記述が含まれている場合があります。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定に基づくほか、様々なリスクや不確定・不確実性を含んでおります。したがって、現実の業績は当社の見込みとは異なる可能性があります。